

令和6年度第1回喜茂別町地域公共交通活性化協議会 議事録

喜茂別町地域公共交通活性化協議会事務局

(喜茂別町役場まちづくり振興課)

1. 日 時 令和6年4月30日（火）

2. 場 所 喜茂別町役場 二階 大会議室

3. 出席者 別紙のとおり

4. 議 題 議案第1号 委員の退任及び構成委員の変更について
議事第2号 規約の改正
議事第3号 役員改選
議事第4号 令和5年度事業報告及び決算報告について
議事第5号 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について
報告第1号 令和5年度町営バス「ウサパラ号」の利用実績について
報告第2号 町営バス運行に係る軽微な変更について
報告第3号 国鉄胆振線代替輸送確保基金について
その他 今後のスケジュールについて

5. 議事の経過

（1）協議会運営に関する報告

委員の過半数が出席しており、協議会規約第7条第2項より会議は成立。

（2）議案第1号 委員の退任及び構成委員の変更について

【事務局】

（議案に沿って説明）

【会長】

議案第1号について、承認でよいか。

→異議なし→議案第1号について承認

（3）議事第2号 規約の改正

【事務局】

（議案に沿って説明）

【会長】

議案第 2 号について、承認でよいか。

→異議なし—議案第 2 号について承認

(4) 議事第 3 号 役員改選

【事務局】

(議案に沿って説明)

【会長】

議案第 3 号について、承認でよいか。

→異議なし—議案第 3 号について承認

(5) 議事第 4 号 令和 5 年度事業報告及び決算報告について

【事務局】

(議案に沿って説明)

【会長】

議案第 4 号について、承認でよいか。

→異議なし—議案第 4 号について承認

(6) 議事第 5 号 令和 6 年度事業計画（案）及び予算（案）について

【事務局】

(議案に沿って説明)

【委員】

昨年一回だったこともありもう少し多くするべきだと思う。また、去年意見でのたデマンドタクシーは進めていくのか。

【事務局】

先ほどでた意見については「その他」の部分でお話しする。

【会長】

資料 9 で年間スケジュールの想定のところで本協議会をどのようにやっていくかと
いうことを事務局から提案させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

【委員】

アンケートについてはどのような内容でなにのためにするのかについて、資料 9 で
お話しいただけるのか。

【事務局】

アンケートは計画を作成するための基礎資料とし行いたいと考えている

【委員】

計画を作るため幅広く行うということか。

【事務局】

そのとおりです。外部の意見を取り入れ計画を作成したいが、方向性が見えてこないのでこの辺を踏まえてこの後、お話しさせていただきたい。

【会長】

その他のところで資料9等や今後のスケジュール、今年度の事業計画合わせてご意見いただきと思う。

(7) 報告第1号 令和5年度町営バス「ウサパラ号」の利用実績について

【事務局】

(議案に沿って説明)

【会長】

質問・意見等なにかあるか。

→意見等なし

(8) 報告第2号 町営バス運行に係る軽微な変更について

【事務局】

(議案に沿って説明)

【会長】

運転手不足について、町からも何かできないかということで苦肉の策として、町職員が資格を取り最低限確保しようということでおこない、その報告となります。

【会長】

質問・意見等なにかあるか。

【委員】

新たに二人登録されたが、週に何回か運転手の代わりをするのか。

【事務局】

そういうことではない。バスの運転手が休まないといけない時、委託会社から代理の運転手がだせないため、仕方なく登録している。

【委員】

現状だと、運転手は有給等もとれていない状況だと思う。町ではどのような対応をしているのか。

【事務局】

今、地域おこし協力隊に協力要請をしており、もしかしたら確保できるのではと考えている。現状、バス運転手も大変なので私どももできるだけ協力していきたいと思っている。運行会社が無くなった場合も想定しており、最低限単独で運行できる体制まで取りたいと考えていますので運転手として登録させていただいた

【会長】

今、一番問題になっている地域公共交通の存続のために、事業主体の町からできる範囲で行っている。ただ、ベストな方法とは思っていないので、運営方法を含めいろいろな方からご意見をいただき進めていきたいと思う。

【会長】

質問・意見等なにかあるか。

→意見等なし

(9) 報告第3号 国鉄胆振線代替輸送確保基金について

【事務局】

(議案に沿って説明)

【委員】

基金については他の市町村もあったと思うが、それも尽きるのか。

【事務局】

令和6年度で喜茂別町と伊達市が尽きる、壮瞥町・京極町・俱知安町については、残額は残っている。令和10年度の車両更新のタイミングで、すべての市町村の基金が枯渇すると思われる。

【委員】

令和10年以降は基金がなくなるため、道南バスの車両の入れ替えの場合は、町で工面しないといけなくなるのか。

【事務局】

そのとおりです。

【会長】

質問・意見等なにかあるか。

→意見等なし

(10) その他 今後のスケジュールについて

【事務局】

(議案に沿って説明)

【事務局】

(委託業者様への質問) デマンド運行をするとなった場合できる体制なのか。

【委員(委託業者)】

今の乗務員2名の体制であれば、土曜日・日曜日が学校休みであればできるのではないかと思っている。

【事務局】

運行は今いる方が行うイメージでしょうか。

【委員（委託業者）】

弊社の方でも乗務員の確保が難しく、今の方が引き続やってくれればできると思う。

【会長】

今、運転しているがデマンドの方式に変わってもやってくれるのであればできるのではないかという理解で間違いないか。

【委員（委託業者）】

はい、そのとおりです。

【事務局】

鈴川小学校の廃校に向けて協議をすすめて行きたいと考えており、規約 第8条第1項にある分科会を設置しようと考えている。町内の関係団体が集まり有識者の意見を聞きながら今後の運行について検討していきたい。

スケジュールについては、6月の中旬に第二回協議会を開催し、委員の募集結果の報告をおこなう。その後、できれば分科会を年4回程開催し、今後の町営バス運行形態について検討したいと考えている。

【会長】

ウサパラ号の運行方法について、関係者・有識者等の分科会を作成しお話しitたい。6月から10月上旬くらいの間に分科会で方向性を決めながら、11月の第三回時には提案をさせていただき皆さんのご意見をいただきたいと考えている。

【委員】

長い間デマンドについて提案し続けてきた。提案し続ける理由としては、現在2ルートとしかなく利用したくてもできない人がいるためである。現状、近い将来65歳以上の方が800人くらいになり、買い物難民や病院に通うためタクシーを使われる方もおり、こういったことを考えると、町民の方に公平なサービスを提供するように発言してきた。今回協議会で、デマンドもやり方によってはできるのではとの意見もあり、会議を11月にするのではなく、まず試験的に1回くらい行ってはどうか。

【会長】

一日でも早くできるのであれば試しでやってみるとからすれば、例えば分科会の中で、運行方法や他の事例、実際の試験時期など話し合いを繰り返していくながら最終的に新年度からか年度途中からかを決める。そのために分科会を作りながら行いたいと考えている。

【委員】

まだ、こちらに来て期間が立っていないためウサパラ号と運転手について教えていただきたい。ウサパラ号の車種と台数はどのようにになっているか。

【事務局】

台数は4台。ハイエースコミューター3台、マイクロバス1台になる。

【委 員】

コストカットの点で話すと、乗車人数をみるとマイクロバスが本当に必要なのかと感じた。あと、運転手は何名いらっしゃるのか。

【事務局】

登録しているのは 4 名になる。

【委 員】

その人数は時期によって変わらるのか。

【事務局】

4 名の登録だが、うち 2 名については他町村の方の登録です。

【会 長】

今 4 台保有しているがルートとしては 2 ルートで常時走っているのは 2 台になります。ですので、運転手としては 2 名いれば運行はできる。ただ、休みや何かあった時に回せるように 4 名登録している。事業自体は、委託をしている。

【委 員】

運転手は町内に一人か

【事務局】

二人になる。

【委 員】

運転手の給料については、他と比べて多いのか少ないのか。運転手を確保するのであれば多くないと人が来ないと思う。運転手確保においてどのような広報活動をしていくのか。

【事務局】

給料に関しては、事業者ではないのでわからない。

【委員（委託業者）】

今の運転手が休む場合については他町村から来るがあてにはできない。弊社から補うこともできない。デマンド方式になった場合、現在運転手は 2 名なので 2 台で回すことになるとおもうが、現在のウサパラ号の乗車率からすれば 1 から 1.5 人でいけると思う。ただ、鈴川小学校の朝の送迎があり、人が集中するのと下校時にも集中するのでそこを調整できればいけるのではと思う。ただ、電話の受け手が一人しかいないのでそこが難しい。

【委 員】

広報啓発活動についてはどのようになっているか。

【事務局】

現状、町 HP には載せていないので改善していきたい。昨年、SNS にてバス運転手募集の合同説明会の宣伝はさせていただいた。

【委 員】

運転手は一日何時間くらい運転しているのか。

【委員（委託業者）】

拘束時間は、朝 6 時くらいから 18 時くらい。その間には休憩時間もあり、実働としては 5 時間から 7 時間くらいになる。

【委 員】

デマンド交通と聞くと合理化が図られ良いように聞こえるが、今の状況からみてもデマンドにしたからといってあまり効果が無いように感じる。逆に、電話の対応等が増えるだけではないかと思う。資料 9 の 6 月から 9 月に行う各種調査は、どのような調査なのか。町民がどういったものを望んでいるのか分からぬ状況で話し合いをしても難しいのではないか。町としてどうしたいのか、それをどう進めるのかを計画的に行わないと厳しいのではないか。ウサパラ号についても、核になっているのが双葉方面になり、それ以外の部分について方向性を定めた方がいい。

【事務局】

乗車の少ないところでは、デマンド方法を検討はしているが、それが正しいのか結論が出ず進んでいない。そこで分科会で有識者の方をお呼びし議論した方がいいのではと考えている。

【委 員】

令和 5 年度事業についてはコロナの影響で行わなかったとあるが本来であれば、前事業者が経営破綻した際に一度やるべきだったと思う。今、予算も無くなり事務局からの素案も無く、新たに来た方も実情も分からぬ状況で意見をいただきたと言われても意見が出るとは思わない。去年の実情を説明して、会議をするべきだったと思う。

【事務局】

ご意見としてはごもっともだと理解している。持続可能な地域交通の計画をしていきたいと思いますので、委員の方々にご意見をいただきながら考えていきたい。そのために分科会を提案させていただいております。

【委 員】

提案できない状況は分かるが、いまのままではできないという結論が出る。年間運営するのに 1400 万かかるおり収入も 10 万 4 千円で基金もなくなった状況の今のままではできないということになる。何らかの違う方法を考えないといけない。

【事務局】

なるべく支出は下げたいが、これをてしまうと町民の唯一の足であるバスというものがほとんどなくなってしまうので難しい。

【会 長】

事務局もいろいろ考えているところではあると理解しているが、不手際についてもそのとおりだと思う。事務局から意見や案を出し、それを検討してもらうべきだった。

昨年いろいろなことがあり、事務局もいろいろと協議しているところだが次に進みきれてないのが現状。次に進むためにご意見をいただきたいというところと、一つの方策として分科会のなかで具体的に話し合いをしたほうがいいのではという提案だった。

事業主体の町としては、まず地域交通の部分で、空っぽのまま運行している現状が続いているのでその効率化についての提案をしたい。また、鈴川小学校の閉校により上下校時の人数が増えるためバスの乗車人数の問題でてきており、そもそもスクールバスとしての機能を今のウサパラ号の運行と一緒にあってもいいのか等検討しているところである。その結果を、どこかの段階で報告し、ご意見やさらなる提案をしていきたいと考えている。

さらに町内だけの運行ではなく、俱知安方面へ向かう地域公共交通を今後やっていけるのかについて考える必要がある。この辺りを区別しながら改めて提案させていただきたい。

【委 員】

鈴川の件に関しては、何人増えるかわかれば、バスの定員しただいで1台で受け入れられるか分かると思うがどうか。

【委員（教育委員会）】

現在鈴川小学校の児童は5名で、小学生だけだと5名増えることになる。いまは、朝だけはマイクロバスで運行していただいていると思う。

【委 員】

今現在、鈴川の児童は使っていないが来年度はこのまでいけるのか。

【委員（教育委員会）】

現状のマイクロバスのまでいける。

【委 員】

問題は現状、中心部の方の大勢の足がタクシーしかないことや委託料が妥当なのか、デマンドにすることによって下がるのかというのが問題になっていると思う。私が思っていた最大の課題は委託業者がデマンドの対応ができるかどうかだったが、何とかなりそうということで、希望がある意見をいただけた。空で走っている分をデマンド方式にして無駄がなくなるようにするのが町民全体の意見ではと思う。一応、物理的には可能ということで経費がどうなるか分からないが、わざわざ分科会を開いたりしないでいけるのではと思う。事務局でデマンドの経費について考えがあればお聞きしたい。

【事務局】

現状、ハイエースコミューターで町内の狭い道を走るのは厳しいのではと考えており、車両を小型化する必要があると思う。事業費についてはお答えするのは難しい。

【委 員】

ハイエースの定員についてと本当に中心部は走れないのか。

【事務局】

定員は 14 名でマイクロバスになると 29 名になります。大きな車両で細い道を走るのは難しいと考える。

【委 員】

デマンド方式にするには町民がどのように利用するのか、先に調査した方がいい。

【委 員】

経費の話がでたが、デマンドしたといって運転手を減らすことができない。運転手の部分が一番経費がかかるので、経費が大きく削減されることはない。逆に委託業者の電話対応が増え大変なのでは思う。今後については、例えばニセコ町や南幌町等のデマンド交通を行っているところに視察等されてはどうか。

【会 長】

デマンドについて町民からの意見を募る等、いろいろなご意見をいただくことができたので、これを踏まえ事務局側で新たな提案をしていく形にしたい。

【事務局】

分科会については開催してもよいか伺いたい。

【会 長】

分科会についても、メンバーや回数等の内容を含めて事前に提案させていただいてから、進めていきたいと思う。

【会 長】

今回の協議会の内容は以上になるが他に、意見はあるか。

【委 員】

本協議会は、いかに町民に利益になる方向で運営していくかだと思う。一軒一軒調査をして、それからどうしたらいいから決めていくべき。

【委 員】

一回実行しないと分からないがあると思う。ウサパラ号の存続ではなく住民の足をどう確保するかだと思う。分科会でも、こういったことを重点的に議論したい。

【会 長】

他に意見がなければこれで終了致します。